

議事録

2024 年春季大会 領域 7 インフォーマルミーティング

日付：2024 年 3 月 21 日

時刻：18:00~19:00

場所：オンライン (zoom)

司会者：佐藤拓朗 (分子研)

出席者：久保園 (岡山大)、中澤 (阪大)、佐藤 (分子研)、今城 (東大物性研)、坂田 (岐阜大工)、須波 (産総研)、溝口 (筑波大数理)、杉浦 (東北大金研)、印田 (北大理)、川村 (名大理)、木村 (名古屋工業大学)、高木 (東大)、山本 (分子研)、小林 (名大理)、他日本物理学会会員、丸山 (筑波大数理) (記) 最大 34 名

欠席：佐々木 (東北大金研)、清水 (富山県立大工)

議題

- 1 学生優秀発表賞 表彰式
- 2 現領域代表、副代表、運営委員の紹介
- 3 次期領域代表、副代表の紹介
- 4 次期領域運営委員の紹介
- 5 次々期領域運営委員の選出・承認【審議事項】
- 6 メーリングリスト運用について
- 7 概要集提出率について
- 8 各種賞について (日本物理学会論文賞・米沢富美子記念賞)
- 9 関連会議・シンポジウムの紹介
- 10 次回大会について
- 11 今後の領域 7 の運営について【審議事項】

1 学生優秀発表賞 表彰式

学生優秀発表賞を口頭発表から選出した。印田朱音氏 (北大理)、川村泰喜氏 (名大理)、2 名の受賞が決定した。副代表久保園氏によって表彰式を執り行い、印田氏と川村氏は自己紹介、研究概要ならびに受賞に対するコメントを行った。記念写真としてスクリーンショットをとった。

2 現領域代表、副代表、運営委員の紹介

現領域代表、副代表、運営委員の紹介を行った。(佐々木氏、久保園氏、佐藤氏、丸山氏、今城氏、坂田氏)

3 次期領域代表、副代表の紹介

次期領域代表、副代表の紹介を行った。(久保園氏、中澤氏)

4 次期領域運営委員の紹介

次期領域運営委員の紹介を行った。(今城氏、坂田氏、須波氏、清水氏)

5 次々期領域運営委員の選出・承認【審議事項】

次々期領域運営委員として溝口知成氏と杉浦栞里氏が選出された。参加者全員から承認された。溝口氏と杉浦氏が挨拶を行った。

6 メーリングリスト運用について

メーリングリストのアドレス数の上限に近いているため、不必要な場合の削除の連絡をお願いした。4月以降は今城氏が管理を担当する。

7 概要集提出率について

本大会における領域7の概要集提出率は94.9%であった。次回以降の提出率向上ため概要提出のお願いを行った。

8 各種賞について(日本物理学会論文賞・米沢富美子記念賞)

日本物理学会第30回論文賞の概要を説明し、募集のアナウンスを行った。

第5回(2024年)米沢富美子記念賞を榮永茉莉氏が受賞したことをアナウンスした。

次回の米沢富美子記念賞の概要を説明し、募集のアナウンスを行った。

9 関連会議・シンポジウムの紹介

1件の共催シンポジウム、1件のワークショップを紹介した。

領域10の木村氏より「超秩序構造が招く物性物理学」の共済シンポジウムの提案があった。

層間化合物が領域7とマッチするということで合同となった。2024年の5月の領域委員会での承認後、正式に認められる。

高木氏よりISSPワークショップ「デバイス活用で望む有機伝導体の未来」の紹介があった。

10 次回大会について

次回大会についてアナウンスした。

11 今後の領域7の運営について【審議事項】

講演者数の大幅な減少を議題として挙げた(100件以下)。久保園氏より対策として、以前

領域 7 に参加していた研究者、領域外の研究者への登壇申込を代表、副代表から直接の声がけすることを伝えた。加えて PI に学生の登壇申込をお願いすることをアナウンスした。岡田氏（筑波大数理）、山本氏（分子研）へ意見を求め、自発的な声かけをお願いした。中澤氏（阪大）から声かけ、化学分野、有機デバイス分野の研究者からの発表が重要であるというコメントがあった。グラフェン、vdW 系、トポロジカル物性の研究も取り込んでいくことが重要であるというコメントがあった。